

フトモモ科植物の導入とマツ林への 植え付け

平井健一郎

平成 18 (2006) 年 6 ~ 8 月にかけて行った、うらら池北東マツ林へのフトモモ科樹木の植栽について記録する。

現在、ブラシノキを始めとしてマキバブラシノキ、カリステモン ピニフォリウス (*Callistemon pinifolius*)、モクマオウ、フェイジョア、メラレウカ等フトモモ科植物を中心に、南半球の植物を植栽している。オセアニアに代表されるこの地域には、他にも特徴的な花や形態を有し展示に有望な花木が数多くあることから、この植栽区域の充実を図る目的で表 1 の樹木を追加した。

導入植物を選択する際、己斐ガーデンスクエア (広島市西区己斐) のチーフマネージャー塩田進氏から耐寒性・仕立て方など管理方法の助言をいただいた (表 2)。樹種の選択は、開花期・花色・耐寒性をポイントにした。購入が 11 月であったため、春の植え付けまでは、購入時そのままのプラスチック鉢で

管理したが、グレヴィレア・プーリンダピーターとカリステモン・フォルモーサム の 2 品種は枯死した (表 1)。資料によると、この 2 品種の耐寒性はもっとも強い A に該当しており、枯損したのは寒さとは別の要因 (秋遅くまでの猛暑、水切れあるいは過湿等) が考えられ、管理不十分であったと推測している。既に植栽されていたメラレウカの枯死要因について先述の塩田氏に尋ねたところ、カリステモンより根が非常に繊細で、寒さ・乾燥・水はけに注意が必要との助言を受けた。

このたび植え付けたものも含め、園内フトモモ科植栽区詳細図 (2006 年 12 月現在) を図に示す。今回購入したカリステモン 1 品種及び既存株 2 品種計 3 株は、暖くなる 3 月に、マキバブラシノキ ~ レモンユーカリ間の既存株の奥に植え付ける予定である。また、既存のブラシノキについては一昨年、枝の更新のため株元の小枝までせん定した。その際、開花枝がなくなる懸念から旧枝を何本か残したため樹形が乱れている。今後、株元の小枝が充実し開花するのに十分な枝になったものから、乱れた旧枝を切り落とし樹形を整える予定である。

表 1. 広島市植物公園が保有するフトモモ科植物リスト (2006 年 12 月現在)

植物名	学名	導入先	株数	導入年月日	植え付け	備考	※
ヒースバンクシア	<i>Banksia ericifolia</i> L.f.	改良園	1	2006.4.22	2006.6.20		⑬
ヒースバンクシア	<i>Banksia ericifolia</i> L.f.	己斐ガーデンスクエア (浜田樹苗園)	1	2005.11.14	2006.6.20		⑬
カリステモン フォルモーサム	<i>Callistemon formosum</i>	己斐ガーデンスクエア (浜田樹苗園)	1	2005.11.14		'06.7 枯れか? → 11 枯死	
	<i>Callistemon pinifolius</i> (J. C. Wendl.) DC.	詳細不明	1		既存		③
カリステモン クリアビューホワイト	<i>Callistemon</i> 'Clear View White'	己斐ガーデンスクエア (浜田樹苗園)	1	2005.11.14			
マキバブラシノキ	<i>Callistemon rigidus</i> R. Br.	詳細不明	1		既存		①
シロバナブラシノキ	<i>Callistemon salignus</i> (Sm.) DC.	詳細不明	1			苗圃から植え出す予定	
	<i>Callistemon</i> sp.	詳細不明	4		既存		④
ブラシノキ	<i>Callistemon speciosus</i> DC.	詳細不明	12		既存		②
	<i>Callistemon viminalis</i> (Soland. ex Gaertn.) Cheel.	詳細不明	1			苗圃から植え出す予定	
レモンユーカリ	<i>Eucalyptus citriodora</i> Hook.	詳細不明	1		既存		⑦
ユーカリ グニー (流通名: シルバードラ)	<i>Eucalyptus gunnii</i> Hook.f.	System Planning Co.	種子	2005.5.23		発芽試験用に種子分譲受	
フェイジョア	<i>Feijoa sellowiana</i> O. Berg. cv.	詳細不明	6		既存		⑥
グレヴィレア プーリンダピーター	<i>Grevillea</i> 'Poorinda Peter'	己斐ガーデンスクエア (浜田樹苗園)	1	2005.11.14		'06.7 枯れか? → 11 枯死	
メラレウカ アルミラリス	<i>Melaleuca armillaris</i> (Soland. ex Gaertn.) Sm.	詳細不明	3		既存	'06 夏 枯死確認するもヒコバエあり	⑫
メラレウカ スノーインサマー	<i>Melaleuca linariifolia</i> Sm.	サカタ	1	2005.10.20	2006.6.20	流通名	⑪
メラレウカ スノーインサマー プルブレア	<i>Melaleuca .linariifolia</i> Sm. cv. Purplea	サカタ	1	2005.10.20	2006.8.26	流通名	⑩
メラレウカ レボリューションゴールド	<i>Melaleuca</i> 'Revolution Gold'	己斐ガーデンスクエア (浜田樹苗園)	1	2005.11.14	2006.6.20		⑧
メラレウカ ロビンレッドプレストブッシュ	<i>Melaleuca lateritia</i> Otto.	己斐ガーデンスクエア (浜田樹苗園)	1	2005.11.14	2006.6.20	英名	⑨
モクマオウ科 ※※ モクマオウ	<i>Casuarium stricta</i> Ait.	詳細不明	1		既存		⑤

※ 図 1 中の番号に対応

※※ フトモモ科ではないが同じ植栽区に植栽しているオーストラリア樹種として記載する

表 2. 己斐ガーデンスクエア提供資料 (抜粋)

区分	ラベル名及び商品名	花色	開花	耐寒	耐潮	葉型	備考 用途
常緑中木	カリステモン クリアビューホワイト	白	春～秋	B			庭木、シンボル
	カリステモン フォルモーサム	黄	春	A			庭木、シンボル
常緑低木	グレヴィレア プーリンダピーター	赤	3～4及び 9～10月	A		鋸葉	ブッシュ状の目隠しに
常緑低木	ヒースバンクシア	赤又はオ レンジ	春又は秋	B	強	松葉	強健 低木
常緑中木	メラレウカ スノーインサマー	白	6月	B	可	小葉	柔らかな印象が人気 庭木 花壇 生垣
	メラレウカ スノーインサマー プルブレア	白	6月	B	可	小葉	庭木 花壇 生垣
常緑低木	メラレウカ レボリューションゴールド	白	6月	C	可	小葉 レモン色	庭木 花壇
	メラレウカ ロビンレッドプレストブッシュ	オレンジ	初夏	D	可	小葉	まばらな枝と小さな葉

耐寒性表示 A: -6℃以下 B: -5～-6℃ C: -3～-4℃ D: -1～-2℃ E: 0℃



図. マツ林フトモモ科植栽位置図 (番号は表 1 に対応)

花の進化園の植栽状況と開花記録

磯部実、梶川修*、川口博康

栽培記録第 24 号 (平成 14 年度) に引き続き、主に草本植物の植栽状況の記録と今後植栽する植物の選び出し及び栽培方法の検討のために開花調査を行った。植栽及び開花状況は表のとおりである。開花調査は平成 18 年 4 月から 12 月まで行い、約 380 種類 (品種) の植物について記録した。

身近で有用な植物を中心に植栽展示し、あわせて入園者の植物の関心・理解の向上を促進するため、重要なものにはそれぞれに解説板 (簡単な手作りのもの) を設置した。最近 (平成 14 年以降) 新しく植栽展示したアピオス (アメリカホドイモ)、ヘビウリ、スモークツリー、ナタマメ、チョウセンアサガオなどは、開花や結実期間が比較的長くて珍しいので、ガイドボランティアや入園者に好評であった。

18 年度展示テーマ「巨大」にちなみ、花の進化園通路両側の空きスペースにヒマワリ「ソラヤ」、マ

ンチキン」を約 1,500 本植栽展示した。

8 月中旬～9 月上旬に人工湿原にサギソウの開花株 (ポット植え) を、毎週 1 回差し替えを行い、常時数 50～100 輪程度観察できるように展示した (写真 1)。

9 月の夜間開園時には、カンナ、ヘチマ (写真 2)、ヒョウタン、ヨルガオ、サルビア類、オミナエシなどをライトアップし、夜間にも花や果実が観賞できるようにした。

早春に低温が続き、種子発芽や生育が遅れた影響で、春から初夏に咲く種類は開花始が 1～2 週間遅れた。逆に夏は高温で推移したことからセンニチコウ、ワタ、ケナフ、ヘチマ (写真 2)、ヘビウリなどは生育が良く、開花・結実が多かった。晴天・高温は 9 月まで続き、秋咲きのタマスダレ、コダチダリア、ハマギクなどの野生ギクの一部は開花が早まり、霜の降るまで咲くなど、開花・結実の期間が例年より長いものが多かった。

春から夏は害虫 (アブラムシ、ヨトウガ、ハマキガなど) の発生が一部の展示植物に見られたので、

*現広島市農林水産振興センター